



原子力機構週報

(12/1 ~ 12/7)

原子力機構近況

- 原子力機構は、東京電力福島第一原子力発電所事故に関してさまざまな活動を行っております。当該活動の全般的な内容については下記に掲載しております。
<http://www.jaea.go.jp/fukushima/index.html>
- 12月5日(水)、コンピュータウイルス感染による情報漏えいの可能性について発表いたしました。
- 12月10日(月)13:30~16:30、富国生命ビル28階 第2会議室(東京都千代田区内幸町2-2-2)において、「福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の長期的影響把握手法の確立に向けた検討会(第5回)」を開催いたします。(別添参照)
本検討会は、どなたでも傍聴いただけます。
詳細は、<http://www.jaea.go.jp/fukushima/kankyozanzen/tyouki-eikyoku/kaisai/05-20121210.html>
- 12月12日(水)~13日(木)、東京大学伊藤国際学術研究センター地下2階伊藤謝恩ホール(東京都文京区本郷7-3-1)において、「原子力と核不拡散、核セキュリティに係る国際フォーラムー核燃料サイクルのバックエンドにおける核不拡散、核セキュリティ確保とアジアにおける地域協働」を開催いたします。
詳細は、<http://www.jaea.go.jp/04/np/activity/2012-12-12/announce.html>

各研究開発拠点等のトピックスについて

- サイエンスカフェを開催いたします。(那珂12/8 予定)
テーマ:「エネルギーを生み出すプラズマのひみつー見えてきた!ミニ太陽による発電への道ー」
詳細は、<http://www.naka.jaea.go.jp/etc/outreach.html>
- サイエンスカフェ in はちのへを開催いたします。(青森12/11 予定)
テーマ:「星の物語ー天文写真で読み解く宇宙と核融合ー」
詳細は、<http://www.jaea.go.jp/04/aomori/news/news-20121211.html>
- 「第3回レーザー共同研究所成果報告会」を開催いたします。(敦賀12/11~12 予定)
詳細は、<http://www.jaea.go.jp/04/turuga/laser/3rdLaserSeikaHP/index.html>
- 「第27回オープンセミナー」を開催いたします。(敦賀12/13 予定;敦賀商工会議所、12/14 予定;福井商工会議所)
- 瑞浪超深地層研究所の施設見学会を開催いたします。(東濃12/15 予定)
詳細は、http://www.jaea.go.jp/04/tono/kengaku/kengaku_miu2.html



原子力機構 HP: <http://www.jaea.go.jp>

原子力機構携帯 HP: <http://www.jaea.go.jp/i/>

メルマガ登録: http://www.jaea.go.jp/14/14_0.html

各研究開発拠点等のその他の状況について

- 別紙のとおり

【本件に関する問い合わせ先】

独立行政法人日本原子力研究開発機構

広報部 報道課長

中野 裕範

TEL 03 (3592) 2346

独立行政法人日本原子力研究開発機構

人形峠環境技術センター

総務課長

小椋 幸男

TEL 0868(44)2211〔代表〕



原子力機構 HP: <http://www.jaea.go.jp>

原子力機構携帯 HP: <http://www.jaea.go.jp/i/>

メルマガ登録: http://www.jaea.go.jp/14/14_0.html

各研究開発拠点等のその他の状況について

1. 人形峠環境技術センター

- (1) ウラン濃縮原型プラント：滞留ウラン除去設備停止中
- (2) 濃縮工学施設：パイロットプラント遠心機処理設備停止中
(～12/4 まで定期点検、12/5～H25/1/16 まで停止予定)
- (3) 製錬転換施設：硝酸廃液処理試験設備運転中 (10/22～H25/3/31 予定)
製錬転換施設内の設備機器等解体・撤去作業下期分準備中

2. 本部

- ・ なし

3. 東海研究開発センター

○地震による施設の復旧作業中

1) 原子力科学研究所

- (1) 施設運転状況
 - ・ 研究炉(JRR-3)：施設定期検査中 (H22/11/20～)
 - ・ 研究炉(JRR-4)：施設定期検査中 (H22/12/27～)
 - ・ 原子炉安全性研究炉(NSRR)：施設定期検査中 (H23/9/1～)
 - ・ 過渡臨界実験装置(TRACY)：施設定期検査中 (H23/11/30～)
 - ・ 定常臨界実験装置(STACY)：施設定期検査中 (H23/11/30～)
 - ・ 軽水臨界実験装置(TCA)：施設定期検査中 (H23/1/11～)
 - ・ 高速炉臨界実験装置(FCA)：施設定期検査中 (H23/8/1～)

2) 核燃料サイクル工学研究所

- (1) 再処理施設
 - ・ 施設定期検査中 (H19/7/30～)
 - ・ 施設の点検中
- (2) プルトニウム燃料開発施設
 - ・ MOX 燃料に関する研究開発等を実施中

4. J-PARCセンター

- (1) 大強度陽子加速器施設(J-PARC) 運転状況等
 - ・ 地震による施設の復旧作業中
 - ・ 実験施設での利用運転中 (10/18～)

5. 大洗研究開発センター

○地震による施設の復旧作業中

- (1) 原子炉施設
 - ・ 材料試験炉(JMTR)：第 35 回施設定期検査中 (H18/9/1～)
 - ・ 高速実験炉「常陽」：第 15 回施設定期検査中 (H19/5/15～)
 - ・ 高温工学試験研究炉(HTR)：第 5 回施設定期検査中 (H23/2/1～)
- (2) 照射後試験施設
 - ・ 燃料及び材料の研究開発のための照射後試験実施中

6. 敦賀本部

1) 高速増殖炉研究開発センター

- (1) 高速増殖原型炉もんじゅ：性能試験中 (H22/5/6～) (原子炉停止中)
 - ・ 敷地内破砕帯追加調査 (11/13～)詳細は、<http://www.jaea.go.jp/04/turuga/jturuga/press/taishin.html>

2) 原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)

- (1) 廃止措置作業中(使用済燃料搬出期間)
 - ・ 原子炉冷却系統施設 (復水器中部同等) 解体撤去工事 (8/29～)
 - ・ 重水系ヘリウム系等の汚染除去工事(カランドリアタンク及び重水冷却系、重水浄化系等の重水回収及びトリチウム除去) (H21/1/26～)

- ・ 第 25 回定期検査 (9/1～)
- ・ 高経年化調査作業 (原子炉再循環ポンプケーシング等の熱時効脆化調査等) (9/19～)
- ・ 重水前処理装置等を用いたγ核種(コバルト 60 等)の除去作業 (10/17～)

7. 那珂核融合研究所

○地震による施設の復旧作業中

- (1) 臨界プラズマ試験装置(JT-60) : 装置停止中、一部機器の点検整備実施中、JT-60SA に向けた既存装置の解体・改造準備実施中、負イオンビームの長パルス調整試験を実施 (9/5～12/28 予定)、高周波加熱装置の試験を実施 (12/6～12/20 予定)

8. 高崎量子応用研究所

- (1) イオン照射研究施設(TIARA)
 - ・ サイクロトロン : 運転中、タンデム加速器 : 運転中、シングルエンド加速器 : 運転中、イオン注入装置 : 運転中
- (2) コバルト 60 照射施設
 - ・ 第 1 照射棟 : 運転中、第 2 照射棟 : 運転中、食品照射棟 : 運転中
- (3) 電子線照射施設
 - ・ 1 号加速器 : 運転中

9. 関西光科学研究所

1) 木津地区

- (1) 高強度場生成 T3 レーザー(J-KAREN) : 運転中
- (2) X線レーザー実験装置 : 運転中

2) 播磨地区

- (1) 大型放射光施設(SPring-8) : 平成 24 年度の第 6 サイクル運転中 (11/27～12/8、12/10～12/25 予定)

10. 幌延深地層研究センター

- (1) 幌延深地層研究計画地下施設(研究坑道)工事 (500m 掘削予定) : (12/7 現在)
 - ・ 立坑掘削作業
 - 東立坑 (維持管理) : 掘削深度 350.5m
 - 換気立坑 (維持管理) : 掘削深度 350.5m
 - 西立坑 (立坑掘削覆工) : 掘削深度 237.3m
 - ・ 水平坑道掘削作業
 - 深度 140m 調査坑道 (維持管理) : 掘削長 186.1m
 - 深度 250m 調査坑道 (維持管理) : 掘削長 188.1m
 - 深度 350m 調査坑道 (坑道掘削覆工) : 掘削長 260.2m

11. 東濃地科学センター

- (1) 瑞浪超深地層研究所 研究坑道の掘削工事 (1,000m 掘削予定)
 - ・ 立坑掘削作業 : (12/7 現在)
 - 主立坑 (掘削中) 掘削深度 500.4m、換気立坑 (掘削中) 掘削深度 500.2m
 - 坑内外設備の維持管理
 - ・ 水平坑道 (深度 500m) 掘削作業 (H23/4/21～)
- (2) 瑞浪超深地層研究所からの排水
 - ・ 排水処理設備 : 放流を実施中

12. 青森研究開発センター

- (1) 加速器質量分析装置 AMS による分析業務及び分析技術開発 (むつ地区)
 - ・ 海水試料中のヨウ素(I-129)を測定中
 - ・ 少量炭素試料(C-14)の分析技術開発を継続中
 - ・ 環境試料中放射性ヨウ素(I-129)の分析技術開発を継続中

以 上

「福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の長期的影響把握手法の
確立に向けた検討会（第5回）」の開催について

1. 日 時 平成24年12月10日（月） 13:30～16:30
2. 場 所 富国生命ビル 28階 第2会議室
（東京都千代田区内幸町2-2-2）
3. 出席予定者 委員長 百島 則幸 九州大学 アイソトープ総合センター 教授
委員 池内 嘉宏 公益財団法人 日本分析センター 理事
委員 恩田 裕一 筑波大学 大学院生命環境科学研究科 教授
委員 高橋 知之 京都大学 原子力基礎工学研究部門 准教授
他
4. 議題（予定）
 1. 第3次分布状況調査の進捗状況の報告について
 - 1.1 福島第一原子力発電所から80km圏内における空間線量率、放射性セシウムの沈着量の詳細な分布状況の把握、及びその変化傾向の確認について（台風期前の空間線量率及び放射性セシウムの沈着量の詳細な分布状況調査の結果について）
 - 1.2 無人ヘリコプターを用いた福島第一原子力発電所から3km圏内の空間線量率及び放射性セシウムの沈着量の分布状況の把握、及びその変化傾向の確認について（平成24年度1回目の空間線量率及び放射性セシウムの沈着量の詳細な分布状況調査の結果について）
 2. 第3次分布状況調査の進捗状況について（※）
 3. その他（※）
（※）議題（2）以降については非公開で行う。
5. 傍聴者席 15席
6. 傍聴者受付
 - (1) 傍聴を希望される方は、12月7日（金）中に、日本原子力研究開発機構・福島技術本部まで、FAX（03-5157-1950）にて、氏名及び連絡先を明記の上、お申し込みください。また、当日は氏名を確認できるものを持参してください。
受付は、基本的に申し込み順としますが、多数の傍聴希望者があった場合には、会場の都合上抽選となる場合もあります。やむを得ず抽選でもれた方のみ、こちらから前日に連絡させていただきます。
報道関係者で傍聴を希望される方は、12月7日（金）中に、日本原子力研究開発機構・福島技術本部まで、FAX（03-5157-1950）にて、氏名と所属機関名を登録して下さい。また、報道関係者は、原則として1社につき1人とし、入場の際には社名入り腕章を携帯して下さい。
連絡先： 独立行政法人日本原子力研究開発機構（代表 03-3592-2111）
福島技術本部 福島環境安全センター